

信頼できる警察官を育成するまでの道のり
～中米グアテマラでの成果～

日本式「地域警察」がブラジルからグアテマラに逆輸入されて3年が経過します。プロジェクト成果が問われる大事な時期に差し掛かりましたが、サンパウロ警察のこれまでの協力とグアテマラ警察のやる気がプラスの化学反応を起こし、警察官自身に行動変容が見られ、業務内容も対決型重視から犯罪を未然に防ぐための防犯型にシフトしてきました。もちろん、地域の安全を守る主要アクターである住民への歩み寄りを何より大切にし、現場では信頼される警察官が数多く育ってきています。



住民に対して笑顔を見せなかった警察官、警察を怖がって警察署に近づくことのなかった市民が、集会の場で意見交換をし、子供たちが気軽に警察署に立ち寄って次の交流イベントはいつか聞きに来るようになりました。一部の地域では治安が大幅に改善された他、警察官の日々の業務や住民に対する真摯な態度が以下の住民意識調査では高く評価されました。

【住民意識調査結果】

2017年7月のベースライン調査に引き続き、1年半後の2019年2月にパイロット地域の住民1,058名を対象に地域の治安や警察のイメージを調査するアンケートを実施。多くの項目で大幅な改善が見られた。

体感治安

「良い」「大変良い」と回答した%



地域でのPNCのプレゼンス

「高い」「大変高い」と回答した%



被害届を出した際の対応

「良い」「大変良い」と回答した%



PNCに対する信頼

「ある」「高い」と回答した%



このような成果を共有する目的で、これまでプロジェクトに携わった住民リーダー、警察官、NGO や民間企業、市役所関係者、ブラジル人約200名を対象に7月26日にプロジェクト終了イベントを開催予定です。